

平成30年度決算の状況

1 一般会計

決算規模は、歳入が71億9,718万円(2.1%増)、歳出が68億6,990万円(2.7%増)となっている。

執行率は、予算現額73億1,050万円に対し、歳入98.4%、歳出94.0%となっている。

歳入では、町税が17億1,741万円前で前年度比2.1%の減となったほか、町債で4,859万円(4.6%)繰入金で3,683万円(29.2%)の減となった。一方、繰越金で1億681万円(42.2%)、寄附金で7,390万円(35.1%)、国庫支出金で6,799万円(14.9%)の増となっている。

歳出では、中学校長寿命化事業や西小学校トイレ改修などにより、教委費が2億7,804万円(46.8%)の増加となった。一方、29年度施行の臨時福祉給付金事業や志賀高原保育園大規模改修事業が皆減となったことから、民生費が1億1,144万円(8.7%)の減となっている。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 町税	1,670,700,000	2,242,109,794	1,717,407,983	198,245,207	326,456,604	46,707,983
2 地方譲与税	56,049,000	56,049,000	56,049,000	0	0	0
3 利子割交付金	1,800,000	2,205,000	2,205,000	0	0	405,000
4 配当割交付金	3,100,000	3,753,000	3,753,000	0	0	653,000
5 株式等譲渡所得割交付金	3,160,000	3,160,000	3,160,000	0	0	0
6 地方消費税交付金	237,327,000	237,327,000	237,327,000	0	0	0
7 ゴルフ場利用税交付金	2,000,000	2,698,920	2,698,920	0	0	698,920
8 自動車取得税交付金	13,331,000	13,331,000	13,331,000	0	0	0
9 地方特例交付金	2,000,000	2,766,000	2,766,000	0	0	766,000
10 地方交付税	2,294,577,000	2,294,577,000	2,294,577,000	0	0	0
11 交通安全対策特別交付金	800,000	875,000	875,000	0	0	75,000
12 分担金及び負担金	53,679,000	57,242,261	53,706,815	0	3,535,446	27,815
13 使用料及び手数料	43,126,000	44,638,702	44,297,967	72,960	267,775	1,171,967
14 国庫支出金	577,727,000	525,575,130	525,575,130	0	0	△ 52,151,870
15 県支出金	374,330,000	365,314,062	365,314,062	0	0	△ 9,015,938
16 財産収入	27,966,000	28,293,688	28,293,688	0	0	327,688
17 寄附金	276,738,000	284,197,380	284,197,380	0	0	7,459,380
18 繰入金	148,078,000	89,434,000	89,434,000	0	0	△ 58,644,000
19 繰越金	359,840,800	359,841,146	359,841,146	0	0	346
20 諸収入	86,492,000	108,667,259	105,487,439	2,000,000	1,179,820	18,995,439
21 町債	1,077,682,000	1,006,882,000	1,006,882,000	0	0	△ 70,800,000
歳入合計	7,310,502,800	7,728,937,342	7,197,179,530	200,318,167	331,439,645	△ 113,323,270

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 議会費	82,224,000	76,612,107	0	5,611,893	5,611,893
2 総務費	1,008,230,000	935,863,494	0	72,366,506	72,366,506
3 民生費	1,214,137,000	1,166,423,678	0	47,713,322	47,713,322
4 衛生費	344,769,000	333,045,728	0	11,723,272	11,723,272
5 農林水産業費	343,973,000	326,800,212	5,835,000	11,337,788	17,172,788
6 商工費	554,096,000	481,305,471	56,133,000	16,657,529	72,790,529
7 土木費	609,665,000	601,125,410	0	8,539,590	8,539,590
8 消防費	704,230,000	703,094,949	0	1,135,051	1,135,051
9 教育費	1,039,481,000	872,036,363	144,414,000	23,030,637	167,444,637
10 災害復旧費	33,873,800	31,992,191	0	1,881,609	1,881,609
11 公債費	544,966,000	543,317,095	0	1,648,905	1,648,905
12 諸支出金	816,000,000	798,286,349	0	17,713,651	17,713,651
13 予備費	14,858,000	0	0	14,858,000	14,858,000
歳出合計	7,310,502,800	6,869,903,047	206,382,000	234,217,753	440,599,753

歳入歳出差引残額

327,276,483

2 有線放送電話事業特別会計

有線放送電話は、災害時の緊急放送や地域の情報、通信手段として信頼される情報システムづくりを進め利用者の利便性を図ってきたが、加入者の減少や管理施設の老朽化が進み継続していくことが困難になったことや、地域防災情報システムの整備が整ったことから、水道事業等運営審議会の答申に沿って平成30年度末をもって事業を廃止した。なお、関連施設は令和元年度から2年間の予定で撤去を行う。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 使用料及び手数料	24,465,000	26,327,620	25,944,610	45,120	337,890	1,479,610
2 財産収入	180,000	180,612	180,612	0	0	612
3 繰入金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
4 繰越金	8,908,000	8,908,820	8,908,820	0	0	820
5 諸収入	122,000	118,797	118,797	0	0	△ 3,203
歳入合計	33,676,000	35,535,849	35,152,839	45,120	337,890	1,476,839

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費	29,594,000	23,176,945	0	6,417,055	6,417,055
2 基金積立金	3,082,000	3,080,612	0	1,388	1,388
3 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
歳出合計	33,676,000	26,257,557	0	7,418,443	7,418,443

歳入歳出差引残額

8,895,282

3 国民健康保険特別会計 事業勘定

平成30年度からは、長野県も財政運営の責任主体となったため、保険給付について必要な財源は、長野県から交付されることとなり、長野県へは国民健康保険税を主な財源として保険事業費納付金を支払いすることとなった。このことから、拠出金等も長野県で一括して各機関へ支払うこととなったため、歳入歳出の状況は、大きく変更となった。納付金については、平成30年8月から行われている福祉医療の現物給付に伴う地方単独事業の減額調整分として、約19万円の上乗せがされている。保健事業は、市町村ごとに行っていく事業のため、昨年同様に実施した。

国保税については、平成28年度に医療の高度化と高額薬剤の影響などから保険給付費を推計し、平均3.4%の国保税の値上げを行った。平成30年度は、長野県から示された標準保険料率を基準に、国民健康保険運営協議会において議論を重ね、資産割を医療給付費分で4.7%、後期高齢者支援金分で1.5%、介護納付金分で1.4%を値下げをし、平均1.5%の値下げを行った。なお、一般会計からの法定外繰入れについては、平成29年度まで行ったが平成30年度は行わなかった。

特定健診・特定保健指導は11年目となり、未受診者対策を講じたが、実施目標はクリアできなかった。なお、平成29年度に策定した山ノ内町第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)に基づき、補助事業を活用して効率的かつ効果的に保健事業を実施した。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 国民健康保険税	386,497,000	467,109,360	391,263,625	3,776,509	72,069,226	4,766,625
2 使用料及び手数料	100,000	160,800	160,800	0	0	60,800
3 国庫支出金	25,000	25,000	25,000	0	0	0
4 県支出金	1,162,403,000	1,163,938,764	1,163,938,764	0	0	1,535,764
8 財産収入	146,000	146,160	146,160	0	0	160
9 繰入金	140,316,000	139,466,494	139,466,494	0	0	△ 849,506
10 繰越金	20,324,000	20,324,495	20,324,495	0	0	495
11 諸収入	3,203,000	3,396,741	3,396,741	0	0	193,741
歳入合計	1,713,014,000	1,794,567,814	1,718,722,079	3,776,509	72,069,226	5,708,079

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費	37,111,000	36,422,855	0	688,145	688,145
2 保険給付費	1,156,000,000	1,154,736,421	0	1,263,579	1,263,579
3 国民健康保険事業費納付金	492,059,000	491,866,320	0	192,680	192,680
4 財政安定化基金拠出金	1,000	0	0	1,000	1,000
5 保健事業費	22,873,000	19,704,839	0	3,168,161	3,168,161
6 基金積立金	147,000	146,160	0	840	840
7 公債費	1,000	0	0	1,000	1,000
8 諸支出金	3,822,000	3,324,627	0	497,373	497,373
9 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	1,000,000
歳出合計	1,713,014,000	1,706,201,222	0	6,812,778	6,812,778

歳入歳出差引残額

12,520,857

直営診療所施設勘定

北部診療所は、医療法上廃止となっているため、基金の管理を行い、管理に掛かる経費は診療所基金を取り崩して支出した。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 財産収入	45,000	45,951	45,951	0	0	951
2 繰入金	16,000	5,000	5,000	0	0	△ 11,000
3 繰越金	1,000	499	499	0	0	△ 501
4 諸収入	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
歳入合計	63,000	51,450	51,450	0	0	△ 11,550

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費	7,000	4,728	0	2,272	2,272
2 基金積立金	46,000	45,951	0	49	49
3 予備費	10,000	0	0	10,000	10,000
歳出合計	63,000	50,679	0	12,321	12,321

歳入歳出差引残額

771

4 後期高齢者医療保険特別会計

制度施行11年目となった。被保険者数は微増し、総医療費、1人当り医療費も増加した。
保険料率は改定年度であるが据え置きとされ、年間保険料限度額を62万円とした。
保険料の低所得者の軽減は、平成20年10月から拡大された9割軽減及び8.5割軽減を継続実施した。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 後期高齢者医療保険料	120,523,000	121,735,651	120,790,251		945,400	267,251
2 使用料及び手数料	1,000	16,600	16,600	0	0	15,600
3 国庫支出金	401,000	401,000	401,000		0	0
4 繰入金	49,965,000	49,800,816	49,800,816	0	0	△ 164,184
5 繰越金	130,000	130,749	130,749	0	0	749
6 諸収入	36,000	68,700	68,700	0	0	32,700
歳入合計	171,056,000	172,153,516	171,208,116	0	945,400	152,116

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費	1,756,000	1,705,413	0	50,587	50,587
2 後期高齢者医療広域連合納付金	169,165,000	169,164,803	0	197	197
3 諸支出金	35,000	34,800	0	200	200
4 予備費	100,000	0	0	100,000	100,000
歳出合計	171,056,000	170,905,016	0	150,984	150,984

歳入歳出差引残額

303,100

5 介護保険特別会計

第7期介護保険事業計画(平成30年度から32年度)の初年度であった。
被保険者はほぼ横ばいであるが、高齢化の進行により要介護(支援)認定者数及び保険給付費は増加しているものの、計画を下回っている。

歳入

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 保険料	320,500,000	331,344,169	325,369,684	562,800	5,411,685	4,869,684
2 使用料及び手数料	4,000	90,000	90,000	0	0	86,000
3 国庫支出金	445,121,000	445,119,875	445,119,875	0	0	△ 1,125
4 支払基金交付金	429,751,000	429,749,000	429,749,000	0	0	△ 2,000
5 県支出金	237,956,000	237,962,245	237,962,245	0	0	6,245
6 財産収入	176,000	176,634	176,634	0	0	634
7 寄附金	1,000	0	0	0	0	△ 1,000
8 繰入金	253,859,000	245,659,527	245,659,527	0	0	△ 8,199,473
9 繰越金	26,078,000	26,078,422	26,078,422	0	0	422
10 諸収入	6,149,000	7,829,520	7,829,520	0	0	1,680,520
歳入合計	1,719,595,000	1,724,009,392	1,718,034,907	562,800	5,411,685	△ 1,560,093

歳出

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 総務費	32,761,000	29,637,415	0	3,123,585	3,123,585
2 保険給付費	1,540,000,000	1,526,044,630	0	13,955,370	13,955,370
3 地域支援事業費	114,043,000	97,660,163	0	16,382,837	16,382,837
4 基金積立金	2,519,000	2,518,634	0	366	366
5 諸支出金	25,272,000	25,067,420	0	204,580	204,580
6 予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	5,000,000
歳出合計	1,719,595,000	1,680,928,262	0	38,666,738	38,666,738

歳入歳出差引残額

37,106,645

6 公共下水道事業特別会計

公共下水道事業は平成11年度で、特定環境保全公共下水道事業は平成22年度で面整備が完了した。
平成20年度から平成23年度で第1次の処理場改築更新工事を行った。

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 分担金及び負担金	1,471,000	4,725,699	1,478,505	467,430	2,779,764	7,505
2 使用料及び手数料	181,428,000	237,091,582	184,825,407	1,952,834	50,313,341	3,397,407
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	0
4 県支出金	0	0	0	0	0	0
5 繰入金	259,990,000	253,662,546	253,662,546	0	0	△ 6,327,454
6 繰越金	1,767,000	1,767,139	1,767,139	0	0	139
7 諸収入	2,000	4,360	4,360	0	0	2,360
8 町債	17,200,000	17,200,000	17,200,000	0	0	0
歳入合計	461,858,000	514,451,326	458,937,957	2,420,264	53,093,105	△ 2,920,043

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 下水道費	227,563,000	223,669,072	0	3,893,928	3,893,928
2 公債費	234,294,000	234,248,837	0	45,163	45,163
3 予備費	1,000	0	0	1,000	1,000
歳出合計	461,858,000	457,917,909	0	3,940,091	3,940,091

歳入歳出差引残額 1,020,048

7 農業集落排水事業特別会計

西部地区
平成17年度で事業が完了し、平成18年4月6日に供用開始をした。
須賀川地区
平成20年度で事業が完了し、平成21年5月14日に供用開始をした。

(単位:円)

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と収入済額との比較
1 分担金及び負担金	1,111,000	3,546,330	1,143,938	550,000	1,852,392	32,938
2 使用料及び手数料	34,511,000	35,442,952	34,969,783		473,169	458,783
3 国庫支出金	0	0	0	0	0	0
4 県支出金	0	0	0	0	0	0
5 繰入金	91,379,000	89,965,570	89,965,570	0	0	△ 1,413,430
6 繰越金	149,000	149,201	149,201	0	0	201
7 諸収入	1,000	600	600			△ 400
歳入合計	127,151,000	129,104,653	126,229,092	550,000	2,325,561	△ 921,908

(単位:円)

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と支出済額との比較
1 農業集落排水事業費	52,021,000	50,843,077	0	1,177,923	1,177,923
2 公債費	75,129,000	75,127,860	0	1,140	1,140
3 予備費	1,000	0	0	1,000	1,000
歳出合計	127,151,000	125,970,937	0	1,180,063	1,180,063

歳入歳出差引残額 258,155